

## 学校改善に向けた後期保護者アンケート ～ご協力ありがとうございました～

### 29年度後期 保護者アンケート 前期比較

2017(平成29)年12月実施 回収数 163枚

2017(平成29)年06月実施 回収数 144枚

	質問項目	A+B		A そう思う		B 大体そう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない	
		29後期	29前期	29後期	29前期	29後期	29前期	29後期	29前期	29後期	29前期
学校生活・学習面	子どもは安心して楽しく学校に通っている。	95.1%	95.1%	50.9%	52.8%	44.2%	42.4%	4.9%	4.2%	0.0%	0.7%
	子どもは学校の授業を「わかる」と言っている。	77.8%	80.6%	13.0%	20.1%	64.8%	60.4%	20.4%	16.7%	1.9%	2.8%
	子どもには基礎的基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う。	79.8%	81.3%	14.1%	17.4%	65.6%	63.9%	18.4%	16.0%	1.8%	2.8%
	子どもは部活動に楽しく熱心に参加している。	85.4%	86.4%	41.1%	46.4%	44.4%	40.0%	9.9%	8.6%	4.6%	5.0%
	子どもには困ったことや悩みを相談できる友人がいる。	87.7%	87.4%	25.2%	32.9%	62.6%	54.5%	11.0%	10.5%	1.2%	2.1%
	家で予習や復習、宿題等の勉強はできている。	67.5%	72.9%	14.7%	19.4%	52.8%	53.5%	25.2%	24.3%	7.4%	2.8%
	子どものことについて、先生と気軽に相談できる。	79.6%	79.2%	22.8%	25.7%	56.8%	53.5%	16.7%	19.4%	3.7%	1.4%
	学校の様子が、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる。	92.0%	89.6%	23.3%	25.0%	68.7%	64.6%	6.7%	9.7%	1.2%	0.7%
	校舎・教室は整理整頓され、掲示物等は分かりやすく配置されている。	93.8%	93.0%	21.0%	21.1%	72.8%	71.8%	5.6%	7.0%	0.6%	0.0%
	学校は一人ひとりを大切にた教育活動をすすめている。	82.8%	88.7%	14.1%	15.5%	68.7%	73.2%	15.3%	9.9%	1.8%	1.4%
家庭生活・役割	教職員は生徒のために熱心に取り組んでいる。	90.8%	93.0%	23.9%	30.1%	66.9%	62.9%	7.4%	6.3%	1.8%	0.7%
	西ノ京中学校の教育活動に満足している。	90.8%	88.0%	23.9%	16.9%	66.9%	71.1%	8.0%	10.6%	1.2%	1.4%
	子どもは校則やきまりを守っている。	98.2%	95.8%	42.9%	42.0%	55.2%	53.8%	1.8%	3.5%	0.0%	0.7%
	家庭では「早寝・早起き」に心がけている。	67.5%	73.6%	17.8%	22.9%	49.7%	50.7%	27.6%	20.1%	4.9%	6.3%
	子どもは朝ごはんを毎日きちんと食べている。	93.3%	97.2%	66.3%	73.6%	27.0%	23.6%	5.5%	2.8%	1.2%	0.0%
	子どもに家族の一員として、役割と責任を持たせるようにしている。	84.0%	83.3%	27.0%	35.4%	57.1%	47.9%	15.3%	16.7%	0.6%	0.0%
	子どもに規範意識(マナー・モラル等)について教えている。	98.2%	99.3%	39.3%	41.7%	58.9%	57.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.7%
	家庭で読書の習慣がついている。	35.0%	35.4%	15.3%	13.2%	19.6%	22.2%	38.7%	41.0%	26.4%	23.6%
	子どもは自らすすんで「おはよう」「ただいま」などの挨拶ができています。	82.8%	81.9%	44.2%	46.5%	38.7%	35.4%	14.1%	15.3%	3.1%	2.8%
	子どもは配布物を必ず見せ、学校のことをよく話してくれる。	77.4%	74.8%	18.9%	26.6%	58.5%	48.3%	18.2%	23.1%	4.4%	2.1%
家庭の役割	授業参観や学校行事などに、できるだけ参加している。	70.3%	73.4%	13.3%	16.8%	57.0%	56.6%	23.4%	22.4%	6.3%	4.2%
	PTA活動や学校ボランティア活動に、できるだけ参加している(したい)。	44.3%	49.0%	6.3%	6.3%	38.0%	42.7%	41.8%	44.8%	13.9%	6.3%
	夜間の外出はさせていない。	88.7%	88.8%	48.4%	60.8%	40.3%	28.0%	10.7%	9.8%	0.6%	1.4%
	ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている。	82.4%	91.5%	33.3%	39.4%	49.1%	52.1%	15.7%	8.5%	1.9%	0.0%
	子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ対話している。	79.2%	73.4%	23.3%	21.0%	56.0%	52.4%	19.5%	23.8%	1.3%	2.8%

多重回答や無回答、四捨五入処理のため、合計は100%にならない場合があります。

12月に実施した後期保護者アンケートの結果をお伝えします。

時間の経過とともに生徒たちの様子も変化してきており、最初は初々しい気持ちで緊張感を持って取り組んでいたことが、学校生活に慣れるにしたがって疎かになってきたり、また、保護者の方も前回より高い水準で学校の取組を評価されたりすることから、従来、後期は前期と比べてやや数値が低くなる傾向があります。今回の結果も全体的にはその傾向が表れています。

その中で今回気になる点のひとつは、「家で予習や復習、宿題等の勉強はおおむねできている」と考えていただいている数値が、5ポイント程度下がっていることです。それも、内容的には、「A そう思う」が約5ポイント下がり、「D そう思わない」が約5ポイント上がっています。学校だより⑩(1/5発行)でもお知らせしましたように、全国学力・学習状況調査の質問紙に対する回答で、本校3年生の生徒の約75%は「学習塾(家庭教師を含む)で勉強している」と答えており、いわゆる通塾率は全国・京都府平均を上回っています。自学自習の習慣や主体的に学習に向かう態度は将来にわたって必要です。通塾によって学校外の学習時間は一定確保されているとは思いますが、それを除いた純粋な家庭学習の時間をしっかり取るよう促していく必要があります。

また、「学校は一人ひとりを大切にた教育活動をすすめている」の数値も約6ポイント下がっています。



一方で「西ノ京中学校の教育活動に満足している」の数値が約3ポイント上がっていることから、学校生活の経過とともに、思春期特有の様々な課題が顕著になり、ご家庭においてもその対応等に苦慮されている「困り」とそれに伴う「学校にはより一層個別の課題にしっかり対応してほしい」という「願い」の表れではないかと考えます。今回の自由記述欄にも記載がありましたが、「小学校の頃とちがい、中学校は担任の先生に相談しづらい」とのお声をよく耳にします。生徒自身が大人と少し距離を置くようになるのと同じくして、保護者の方々も学校との距離がやや遠く感覚をもたれることは仕方がないことだと思いますが、些細なことでも遠慮なくご相談いただければと思います。担任や部活顧問が窓口になりますが、思春期特有の悩みなど必要に応じて異性の学年教員などもサポートいたします。

他には、「家庭では早寝・早起きに心がけている」が約6ポイント、「子どもは朝ごはんを毎日きちんと食べている」が約4ポイント、「ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている」は約9ポイント下がっており、今一度、生活習慣やそれに影響を及ぼす可能性のある家庭内ルールなどにも目を向ける必要があります。



最後に、「子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ対話している」が約6ポイント上がっています。生徒は学校での出来事を家庭であまり話さなくなっていますが、それでも自分自身の中では進路展望や自己実現について希望や不安を抱えながら一生懸命考えています。学校ではそれぞれの学年に応じたキャリア教育を進めていますが、このようにご家庭でも対話を深めていただいていることは大変ありがたいことです。中学校の3年間は本当に短いものです。今後も様々な学習や学校行事等の機会をとらえて、対話を進めていただきたいと思います。

なお、自由記述は、7名の方にご記入いただきました。前述の件以外に「行事案内についての配布時期（小学校との連携）」「参観時の教室案内や変更連絡」「土曜学習会の申込」「休日部活動の保護者負担」「部活動顧問の増員」「生徒の荷物の多さ」「午前中授業日の午後の部活動の待機場所」「清掃活動の方法」などについてのご意見・ご指摘をいただきました。また、合わせて「学校の雰囲気」について肯定的なご意見・ご感想もいただきました。これらについては、十分に参考にさせていただきながら、今後の教育活動の向上に生かしていきたいと思っています。

## クラスマネジメントシート②

### ～居心地のよい学校・学級を目指して～

10月に実施した「クラスマネジメントシート」の集計結果をお知らせします。

前回6月との違いは、生徒が定期テストや1期の評価・評定、体育祭や文化祭を通した学年・学級集団づくりを経験したうえでの結果であるということです。

学習関連の項目では、すべての項目で前回よりも高い数値となっ

	10月	6月	10月	6月	10月	6月	10月	6月	10月	6月
29.10月(6月比較)	A+B		D		C		B		A	
学習関連項目			全然あてはまらない		はあまりない		少しあてはまる		よくあてはまる	
授業が分かりやすい	89.0%	87.6%	2.1%	3.0%	9.2%	9.8%	46.6%	48.4%	42.4%	39.2%
勉強が楽しい	69.1%	64.4%	10.7%	10.1%	20.5%	25.8%	38.9%	33.8%	30.3%	30.6%
勉強が分かる	80.7%	79.8%	5.9%	5.6%	13.6%	14.8%	42.1%	45.4%	38.6%	34.4%
授業が面白い	75.1%	72.4%	10.1%	8.6%	15.1%	19.3%	37.4%	37.4%	37.7%	35.0%

ていますが、特に、「勉強が楽しい」は約5ポイント増加し、7割に近づいてきました。ただ、ここで気になるのは、どの項目もDがほぼ横ばいであることです。Aの増加率の方が高いことは喜ばしいことですが、一方で意欲を失っている生徒に対して、授業改善によって、その課題解決に向けて引き続き取り組んでいきたいと思っています。

いじめに関連する項目では、「嫌がらせや暴力」「暴言・悪口・無視」「いじめ」に類することにAと答えている生徒は表の通りです。いじめについては、「いじめ防止基本方針」に基づき12月にも別のアンケート調査を実施しており、その集計結果も含めて、担任や学年教員が具体的な状況や事実関係を確認し、「いじめ」事象の解消・解決に向け、必要な個別の対応を行うとともに、いじめを許さない集団づくりを進めていきます。



29.10月

いじめ関連項目	D	C	B	A
友だちや他の子から、嫌がらせや暴力を受けている	299	27	5	6
友だちや他の子から、乱暴なことを言われる	302	27	8	1
友だちや他の子から、陰で悪口を言われる	289	38	5	6
友だちや他の子から、無視をされる	305	26	4	2
友だちや他の子から、いじめられている	321	13	3	1
クラスには、仲間はずれにされている人がいる	241	74	16	7
クラスには、いじめがある	282	41	13	2
クラスが嫌な雰囲気(ふんいき)になるときがある	170	105	47	16